



ステークホルダー会合の様子

一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

持続可能なオリンピック・パラリンピック東京大会 実現のためのNGO/NPO連絡会による提言・ 実践活動とリユースカップの衛生的洗浄方法の実証試験

特別助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

参加団体数

17団体

各部会で政策提言

4回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課 題

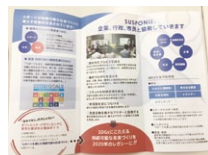
組織委員会、行政とNGO/NPOのコミュニケーションが十分に取れているとは言えず、共通の窓口になるような連絡組織の必要性を双方が痛感している。

目 標

- NGO/NPOが持続可能な社会基盤作りに向けた政策提言と実践活動の双方を担う主体として認識される。
- 東京2020大会において実現すべき持続可能性の内容についてステークホルダー間の議論が深まる。

活動内容

- 東京2020大会における環境負荷を低減するための課題や解決方法を学ぶため、外部講師を招いた勉強会を開催。
- NGO/NPO連絡会(SUSPON)の政策提言・実践活動の成果を発表し、東京2020大会の持続可能性について議論をするシンポジウムを開催。
- NGO/NPO連絡会の活動をWEBサイトにまとめ、国、東京都、組織委員会だけでなく、一般に対しても情報発信を行う。



SUSPON案内リーフレット

達成できなかったこと

参加団体のみで行う全体会は、全3回の開催にとどまった一方、会合・活動が頻繁に実施された部会もある。部会（テーマ）により活動の濃淡が分かれている点が今後の課題。

今後の展望

- スポンサー企業との対話の場も作っていききたい。
- ステークホルダーの活動も応援する活動を行いたい。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・ステークホルダー間の関係性を深めた。(ステークホルダー会合／5回)
- ・活動の認知へ向けて一般へ情報公開を開始した。(WEBサイトページビュー数:3020／2017年1月12日～3月31日)

工夫

広く活動が認知されるために、シンポジウムの動画配信(YouTube)も実施した。